



芸術、文化 それは人にやすらぎと潤いを与えてくれる (伊万里市文化祭合同芸能発表会、11月3日)

伊 不 里

宣言します!
さわやか市政

伊
報
Imari

2002
(平成14年)

12

今月の主な内容 NO.586

特集 男女協働参画社会実現のために……	2
インフォメーション伊万里……	8
教育と文化……	13
みんなの広場……	14
みんなの笑顔が光っていました	
市民体育祭……	16
ほがらかページ……	18
伊万里人町往来……	19
スポーツ……	20
くらしのチャンネル……	22
お便り……	24



そめつけうさぎもんへんけいさら
染付兔文変形皿

伊万里 1670～1680年代
高さ2.5 口径14.1～15.0 底径7.7cm

糸切り細工・型打成形の変形皿です。陽刻状に起伏のある見込みには、染付によって兔を描いています。画面から飛び出しそうな耳の表現が力強い。鼻須の発色は明るく、延宝期の古伊万里の特徴を示しています。こゆい濃みによる線描や点描、薄い濃みによるボカシの技法などが用いられ、全体に上品な仕上がりになっています。見込みいっぱい丸まった兔を配した画面構成が極めて巧みです。

特集

調査の概要

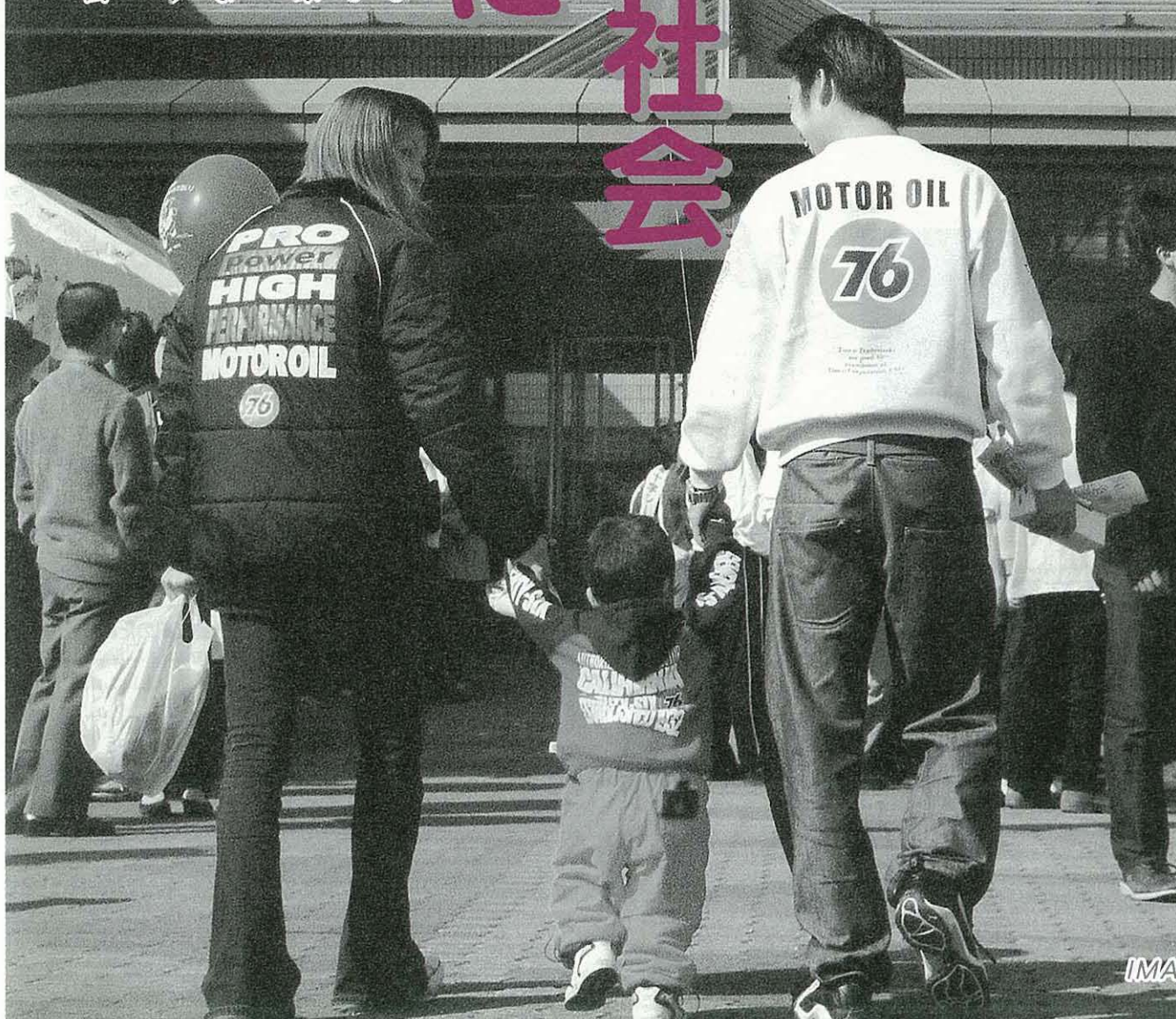
調査対象	20歳以上の一般市民	中学3年生
サンプル数	2,000人 男女各1,000人	739人
抽出法	無作為抽出	市内の中学生全員
調査方法	郵送法	学校を通じて配布・回収
有効回収数	716人 男性 307人 女性 405人 不明 4人	694人 男性 321人 女性 356人 不明 17人
調査時期	平成14年7月	
調査地区	市内全域	

男女協働参画社会 実現のために

市は、性別や世代を超えて多様な生き方を認め合い、すべての人がきらめく男女協働参画のまちをめざしています。そしてその実現に向け、今年度「男女協働参画基本計画（仮称）」を策定します。

今回、計画づくりの資料として家庭生活や職場、社会活動などさまざまな場面における男女の意識や実態を把握するためアンケート調査を実施しました。

ここでは、このアンケート結果を見ながら男女協働参画社会実現のためには何が必要なのか皆さんと考えたいと思います。



① 男女平等の実現状況について

あなたは、男女平等が現在どの程度実現していると思いますか



① 平等感に対する男女の意識に開きがある

男女平等の実現状況についての考えを一般市民は10項目、中学生は3項目で調査しました。ここでは、そのうちの共通項目である『家庭』と『学校』、『社会全体』について見てみましょう。

まず家庭ではどうか見てみると、一般市民では『男性優遇』が『平等』の数値を大きく上回っています。これを中学生で見ると『平等』と答えた人の割合が大きいものの、『男性優遇』と感じている人も多く、特に女性の男性に対する不平等感が強く表れています。

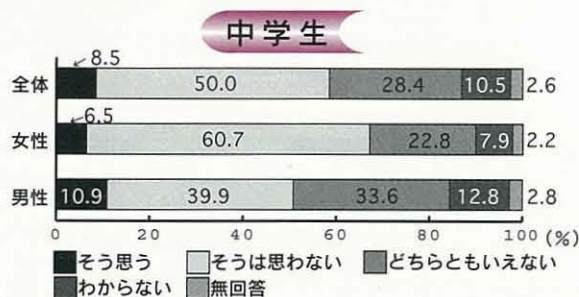
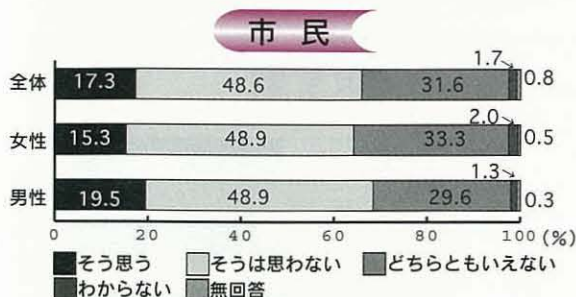
これに対して『学校生活』については、一般市民の半数以上が『平等』と答えており、ほかの分野にくらべ平等感が強くなっています。中学生についても、男女とも『平等』が『わからない』に次いで多くなっています。

しかし『社会全体』で見ると、男女ともに『男性優遇』の率が高くなっています。中学生についても『男性優遇』感が強く、半数近くを占めています。いずれの項目でも『平等』と感じる率は男性の方が高く、15ポイントを超える開きがある項目もありました。平等感に対する男女の意識に大きな違いがあるといえるでしょう。

*中学生との比較のため、一般市民の『どちらかといえば男性優遇』は『男性優遇』に、『どちらかといえば女性優遇』は『女性優遇』に含めた数値としています

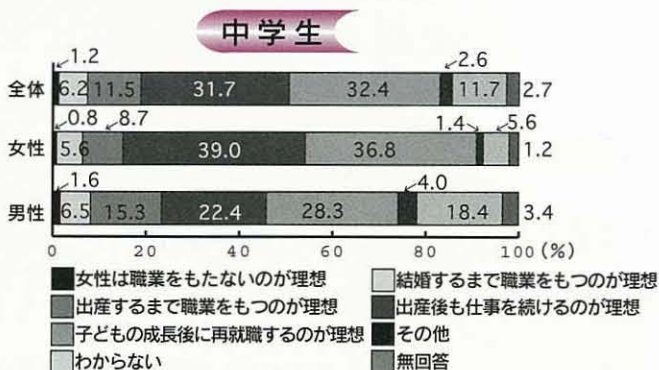
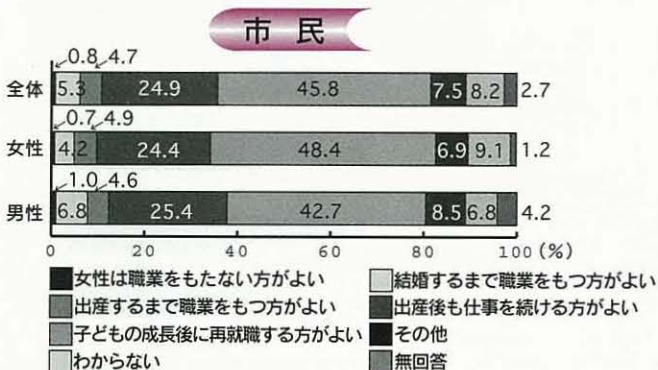
② 性別による分業観について

男は仕事、女は家庭という考え方について、あなたはどのように思いますか



③ 女性が働くことについて

女性が仕事をする事について、あなたはどのような形が最も望ましいと思いますか



② 性別による分業に否定的な考え

次に「男は仕事、女は家庭」という分業観について見てみましょう。一般市民の結果では「そう思う」と肯定する人は全体の2割弱。全体的には否定的な考え方が浸透しているようです。

しかし、これを性別と年齢別で見ると、肯定する人の割合は男女とも年齢が上がるにつれて増える傾向がみられます。特に60歳以上の男性でその率は高く、高年男性の分業観が強いことがわかります。

中学生でこの考えを肯定する人の割合は半減し、全体の半数が「そうは思わない」と否定しています。しかしその率をみると、女性は約6割と高く、男性は約4割と男女間で開きがみられます。

③ 女性の就業への強い意欲

続いて、女性が働くことに対する考えを見てみましょう。

一般市民の回答では「子どもの成長後に再就職する方がよい」が5割弱を占め多勢となっています。

男女間で特に意識の違いはみられませんが、女性の約半数が「子どもの成長後に再就職する」こと

を希望しています。就業している女性では、3割弱が「出産後も仕事を続ける方がよい」と答えています。また、性別による年齢ごとの傾向で見ると、女性の40歳代以下で「出産後も仕事を続ける方がよい」が3〜4割にのぼり、ほかの層に比べて継続的な就業を望む割合が高くなっています。

中学生の回答でも「子どもの成長後に再就職するのが理想」「出産後も仕事を続けるのが理想」がそれぞれ3割を超えています。特に女性ではその比率が高く、就業への強い意欲がうかがえます。

④ 性別によるしつけの違いがはつきり

今度は、子どものしつけについて考えてみましょう。

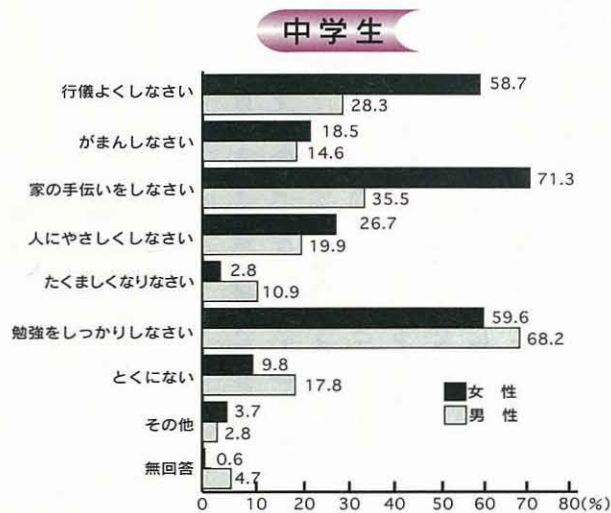
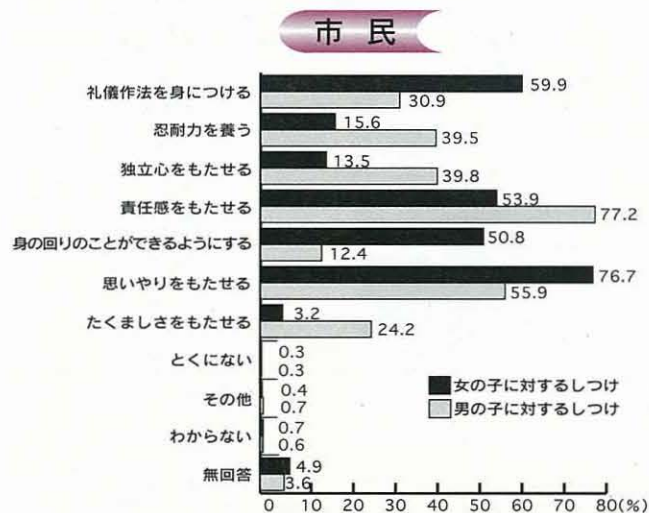
一般市民の回答を見ると、女の子のしつけで大事だと考えられていることは「思いやりをもたせる」「礼儀作法を身につける」「責任感をもたせる」、男の子では「責任感をもたせる」「思いやりをもたせる」「独立心をもたせる」の順となっています。

男の子には従来の「男らしさ」を、女の子には「女らしさ」をイメージする項目が目立っており、子どもの性別によって大切にされているしつけの違いがみられます。

※性別年齢別グラフは掲載していないものがあります

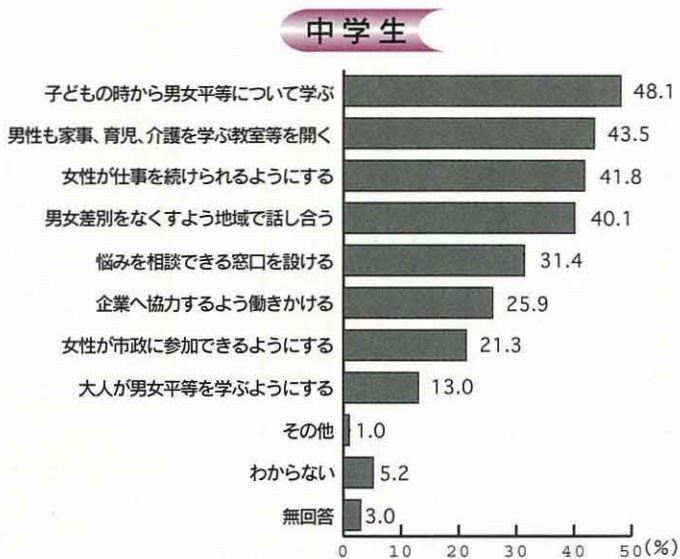
④ 子どものしつけについて

- ・子どもに対するしつけの中で、あなたが大切だと思うことは何ですか
- ・家族やまわりの人からどのようなことをよく言われますか



⑤ 男女協働参画社会実現のために何が必要か

あなたは、伊万里市が今後どのようなことに力を入れていったらいいと思いますか



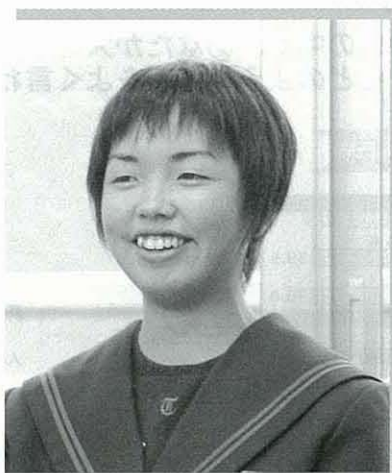
最後に、男女協働参画社会実現のために伊万里市に望むことを見ると、一般市民の半数以上が「育児や介護制度の充実」をあげています。特に女性の回答数が多い、20歳代では7割を超えています。続いて「学校教育の場での教育の推進」「企業主等に対する男女格差是正の要請」では、男性の回答数が多い、特に第4位の「政策決定の場に多数の女性を選任」では女性の数を大きく上回りました。中学生では「子どもの時から男女平等について学ぶ」が最も多くなっています。性別による傾向を見ると「男性も家事、育児、介護を学ぶ教室等を開く」「女性が仕事を続けられるようにする」で女性が約5割を占めたのに対し、男性は3割程度と大きな差が見られます。一方「男女差別をなくすよう地域で話し合う」では、男性の回答が多くなっています。

最後に、男女協働参画社会実現のために伊万里市に望むことを見ると、一般市民の半数以上が「育児や介護制度の充実」をあげています。特に女性の回答数が多い、20歳代では7割を超えています。続いて「学校教育の場での教育の推進」「企業主等に対する男女格差是正の要請」では、男性の回答数が多い、特に第4位の「政策決定の場に多数の女性を選任」では女性の数を大きく上回りました。中学生では「子どもの時から男女平等について学ぶ」が最も多くなっています。性別による傾向を見ると「男性も家事、育児、介護を学ぶ教室等を開く」「女性が仕事を続けられるようにする」で女性が約5割を占めたのに対し、男性は3割程度と大きな差が見られます。一方「男女差別をなくすよう地域で話し合う」では、男性の回答が多くなっています。

⑤ 育児や介護制度の充実が第1位に

しつけを受ける側の中学生の回答を見ると、やはり女性は「家の手伝いをしなさい」「行儀よくしなさい」が男性の率を大きく上回っており、男性は「勉強をしっかりとしなさい」「たくましくなりなさい」で女性を上回っています。

男女協働について聞いて聞いてみました

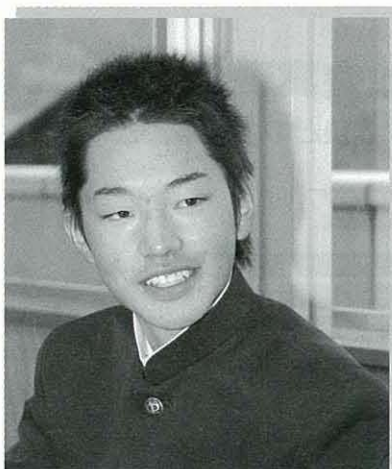


東陵中学校3年
岡崎汐莉さん(松浦町)

自分らしく、その人の個性
で生きれば良いと思う

小学生のころは、よく「女の子らしくしなさい」と言われましたし、それが正しいとも思っていました。だから、少年野球チームに入りたかった時にも「女の子だから」とあきらめたんです。でもわたしが卒業するころ下級生の女の子が入ったと聞き、自分もあきらめずにやればよかったと後悔しました。

自分らしく、その人の個性で生きていく方がいいんじゃないかと思うようになったのはそのころからです。 「女の子がそんなことをしたらおかしい」、「女の子だからやっちゃだ



東陵中学校3年
梅崎泰志さん(大川町)

みんな考えていくことが
必要だと思っています

男女協働参画社会については、1学期に授業で習いました。その時、男女雇用機会均等法のこと勉強しました。会社に入る時、男子の方が採用が多く、給料も高いと聞きました。反対に、女子は就職するのがとても大変だということも知りました。男女協働参画社会とは、こうした男女の区別なく、みんな平等に生きていける社会だと思います。

岡崎さんから「女の生徒会長って汐莉ちゃんか初めてじゃない」と言われたことがある」と聞きびっくりしました。男子なら多分言わ



男女協働参画基本計画策定懇話会
日浦慶直さん(脇田町)

市民の側から盛り上がって
いけたらいいですね

私は、一市民として男女協働参画社会の姿や基本計画、そして基本法などについてまず知りたいと思いました。また、それを市民全員に知ってもらいたいと思い、男女協働参画基本計画策定懇話会に自ら参加しました。これまでの会議は、アドバイザーの先生のお話を聞くのが中心だったので、もっと意見を出し合う時間がほしいと思います。今後ぜひ、委員一人ひとりの意見を聞いてみたいと思っています。

男女協働参画というと、女性の地位向上と

男女協働参画基本計画 に関する意見を募集!

伊万里市は、男女協働参画基本計画の策定にむけて、広く市民の皆さんの意見を募集します。

女性と男性がお互いを尊重しあい、対等なパートナーとして生きていくことができる伊万里市にするために、行政は、市民は、事業所はどうしていけばよいのでしょうか。

アンケートの結果をご覧になった感想や、男女協働参画について日ごろから考えていること、計画書に盛り込んだほうがよいと思われることなど、あなたの自由な意見をお寄せください。

◆対象 伊万里市民

◆応募方法 ①男女協働参画に関する意見、②住所、③氏名、④年齢、⑤性別、⑥電話番号を記入のうえ、郵便、FAX、またはEメールでご応募ください

◆応募期限 平成15年1月6日(月)

◆応募・問合せ先

☎ 848-8501 伊万里市立花町1355番地1

市男女協働・国際交流課

(☎)232111内線485、(☎)27213

e-Mailアドレス danjo-kokusai@city.imari.saga.jp

ひとひと 女と男 きらめきフォーラム in伊万里を開催します

男女協働参画社会の実現をめざして「女(ひと)と男(ひと) きらめきフォーラムin伊万里」を開催します。皆さんそろってご参加ください。

◆日時 平成15年1月18日(土) 正午開場

◆会場 伊万里市民センター

◆プログラム

◇オープニング

午後0時半～0時55分

伊万里yosakoi踊り隊&いまりプラザ

◇開会 午後1時～

◇基調講演 午後1時10分～2時40分

講師：弁護士 渥美雅子さん

◇講師を囲んでの座談会 午後2時50分～3時50分

◇終了 午後4時



め」と言われたら何もできなくなるし、個性もなくなると思います。自分の思うように行動ができれば視野も広がると思うんです。今、わたしは生徒会長をしています。「女のくせに」と言われたことはありません。このように、すべてにおいて男・女という分け隔てがなくねばいいと思います。それにはまず、一人ひとりが自分はどうしたいのかという自覚を持つことから始まると思います。そのため「女だから」、「男だから」というものは決してないんだと、家や学校、社会のなかで教えていく必要があると思います。

れないと思います。それに、今まで女子が野球をするのは変だなと感じていましたが、岡崎さんと話を聞いて、それはなぜだったのだらうと思つています。そういえば、男が料理をしていたら不思議だなと感じる人がいるようですが、僕は好きです。考えてみれば、なぜそうなのか分からないことがたくさんあると思います。それに、いろいろな人がいるような考え方を持つているわけですから、男女協働参画社会を実現させるには、自分たちだけでなく、まわりの人といっしょに考えていく必要があると思います。

いう面が強調されがちですが、決してそればかりではないと感じています。とはいっても、企業や行政面においては管理職などへの女性の進出が進んでいませんし、解決しなければならぬ問題も数多く残されています。日本は、21世紀に見あう男女協働参画社会をめざしていますが、伊万里もそれにふさわしいまちであつてほしいと思つています。そのためにも、性別や年齢にかかわらず、お互いに意見を出し合うことが必要ではないでしょうか。そして、市民の側からさらに盛り上がつていけたらいいと思います。

さわやか伊万里

タウンミーティング

第1回

市長自身が市民と直接対話し、市民の生の声を市政に反映させるとともに、市政の現状やこれからの方向などをわかりやすく説明する対話集会『さわやか伊万里タウンミーティング』。その第1回目が、10月21日、山代公民館で開かれました。ここではその内容をお知らせします。(内容の一部を抜粋して掲載しています)

Q 佐賀大学海洋エネルギー研究センターが、来年春にも稼動する予定と聞いているが、それに関連して進出する企業の詳細を知りたい。

A 今後、産業化をめざした研究を行うような施設を、当研究センターの周辺に作っていたらどうという話を国の地域振興整備公団と進めています。そのため、ちょうど1カ月ほど前にその検討委員会を立ち上げたところでです。

Q 伊万里湾大橋を利用した伊万里のPRをもっと行い、観光を重点的に考えてほしい。

A 観光を軸とした地域の活性化というのは確かに重要な課題です。皆さんにもどんなアイデアを出してほしいと思っています。

Q 川南造船所跡の今後について、市の考えを知りたい。できれば、景観上問題であるし、危険でもあるので撤去してほしい。また、山代町西部(浦之崎地区)の開発も、山代町開発といっしょに考えてほしい。

A 川南造船所跡の施設は、確かに危険でもあるし、撤去が最善だと考えられますが、土砂問題など複雑な法的問題が絡んでおり、残念ながら良策が見つかっていないのが現状です。市にとっても長年の懸案事項でもあるため、法的な解釈を含め解決策がないか現在も調査を進めているところです。また一方で、皆さんのアイデアも出していたいただきたいと考えています。

Q 伊万里団地内の、中国木材以外の空き地の利用について、何か考えがあれば聞きたい。

A 伊万里団地内には、13万㎡の市有地があり、そのほかの土地は地域振興整備公団の土地です。市有地については、地盤が未改良のため、利用目的によっては問題もあるので、今のところ具体的な計画はありません。

Q 山代町に進出してくる誘致企業に、社員寮や住宅もぜひ山代町に作るよう、行政からも指導などしてほしい。

A 山代町に進出が決まった中国木材では、できるだけ地元採用したいの考えです。というのも、地元から通勤できる人を採用することで、通勤や住居などの経費を削減でき、会社側にもメリットが生まれるからです。そうし



テーマ
◆山代町の開発について
◆学校週5日制に対する地域の役割について

Q 伊万里団地に『中国木材』の進出が決まったが、地元雇用はどの程度予定されているのか。

A 〔市長〕3年間で215名の雇用を計画し、そのうち135名を地元から採用予定であるという説明を聞いています。



た意味では、会社の近くに社宅や寮を建てることで、さらに通勤手当などの経費が削減できるわけですから、そうした趣旨を企業側に伝えていきたいと思えます。

Q 伊万里市第4次総合計画による市営住宅立替え事業はどうなっているのか

A 【市長】現在、住宅政策を的確に推進するための『住宅マスタープラン』を策定中であり、平成16年度を開始年度として計画を推進したいと考えています。

【建設部長】現在、市営住宅は市内に9団地713戸あり、老朽化も

進んでいます。そこで策定中のマスタープランに基づき、地域実情にあわせた住宅整備を進める予定です。まず最初は、特に老朽化が激しい久原の市営住宅団地からの建て替えを予定しています。

Q 山代町では、今年7月から子ども

と地域の交流を図り、地域全体で子どもを育てていこうという取り組み『遊・友土曜クラブ』を始めました。これを、今後どのように運営していけばよいか、考えを聞きたい。

A 【教育長】市内各地区で、地域によるさまざまな取組みが行われていますが、これといった具体的な方策はありません。しかし、皆さんが知恵を出し合いながら経験と苦勞を重ねるうちに、子どもが変わっていくと思います。「地域の宝」として子どもを育てる喜びが地域のエネルギーになるのではないのでしょうか。

Q 高齢者と子どもをいっしょに面倒を見ることができないか。また、月に1回は『遊・友土曜クラブ』が開催されているが、それ以外の土曜日についても定期的に子どもを預けるようなことはできないか。

A 【市民部長】市は、少子化対策としてエンゼルプランを策定し、地域での子育てを支援しています。その中で、保育園児と各地区の



老人クラブの皆さんとのふれあいを通じた活動を行っています。ところで放課後児童クラブについては、小学校の1〜3年生までを対象に6小学校で実施していますが、いまのところ高齢者施設などとの交流については考えておりません。放課後児童クラブは、30人程度の希望があれば実施することになっていますので、土曜日の対応については、学校の余裕教室などの条件を考慮しながら今後検討していきたいと思えます。

Q 高齢者が子どもたちとふれあい交流ができればと思う。ふれあいを深めながら、週5日制を効果的に実施すべきではないか。

A 【教育長】松浦町の「松浦子ども塾」や牧島地区の通学体験など、それぞれの地区でさまざまな取組みが行われています。高齢者が意図的に子どもと触れ合うことが、子どもを健全に育てる糧となっており、同時に高齢者にとつての生きがいづくりにな



れば、ともに支えあい豊かになる取組みに結びつくと思えます。【市長】核家族化など、さまざまな理由で親が子ども

の面倒をみられない家庭もあるのが「地域の子どもは地域で育てる」活動が大切だと思います。また、週5日制は始まったばかりですので、長い目で見ていくことも必要かと思えます。地域や家庭は学校任せにせずに、できることから始めていけばどうでしょう。

Q 『遊・友土曜クラブ』のような取り組みを、各自治公民館ごとでの実施は大変なので、山代町でなら東部、中部、西部ぐら

A 【教育長】3〜4の自治公民館程度のまとまりでどこかが拠点になり、その範囲でボランティアを募り取り組めば有効ではないでしょうか。

市教育委員会生涯学習課にも、公民館長会などで地域の実態に則した取組みを工夫してもらおうよう提案したところです。今後、山代地区からモデル的なものを作り出していただければありがたいと思

★伊万里市教育委員会表彰★

皆さんの功績は 本市教育の支えです

11月7日、伊万里市教育委員会表彰式がありました。
これは、各分野にわたり伊万里市教育の振興、発展に貢献した人に対して、市教育委員会が毎年表彰を行っているものです。



当日は、岩永憲一良教育委員長が受賞者一人ひとりに表彰状を手渡し、その功績をたたえていました。受賞者を代表してあいさつした土井伸亜さんは「思いもかけない受章で身に余る光栄です。この受章をさらなる励みとして今後も精進していきたいと思えます。心豊かなまちづくりにも貢献できたかと思いません」と語っていました。
なお、受賞者の皆さんは次のとおりです。(敬称略)

▼学校教育関係

吉武正美(黒川町) 土井伸亜(二里町)

▼社会教育・スポーツ・一般

前山 博(木須町) 故有浦 隼綱(南波多町) 立石幸夫(東山代町) 井関日出夫(松島町) 山口邦子(黒川町) 下平美代(大川内町) 伊万里おはなしキャラバン、伊万里商業高等学校ワipro部、同校速記部



◆都川内ダムが完成◆

これで工業用水は 万全です

大 坪町古賀に佐賀県が建設を進めていた「都川内ダム」が完成し、11月8日、現地での竣工式がありました。

その内の約8割に当たる93万トンを工業用水として、工業団地に供給することになっていきます。

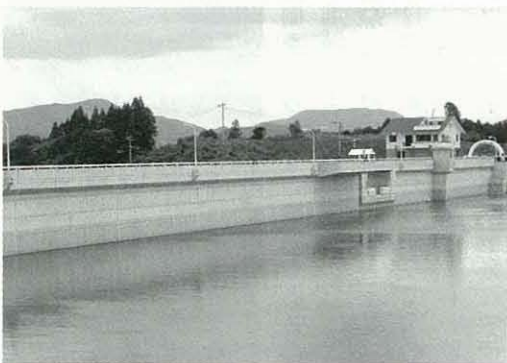
伊万里市は従来、工業用水不足に悩まされてきました。このダムの完成で一定の給水態勢が整うことになりました。

また、ダム下流の大坪町古賀地区は、雨期の古賀川のはんらんや、夏場の濁水に悩まされてきましたが、これで流水の安定化が図られることになりました。

竣工式には、川久保善明副知事ら行政関係者をはじめ、

地権者の皆さん約200人が出席。テープカットに続き、みなみ保育園児による鼓笛隊を先頭に、堰堤の渡り初めを行いダムの完成を祝っていました。

その後に行われた祝賀式であいさつした塚部市長は「県や関係機関の皆さんをはじめ、このダム事業のために先祖伝来の土地を提供していただいた地権者の皆さんに心から感謝申し上げます。水源に乏しい本市にとりましては、水の確保が最大の懸案でした。この都川内ダムの完成により工業用水確保の一応の見通しがつき、今後の伊万里湾開発に弾みがつくものご期待してまいります」と語っていました。





「消費税サービス」の看板を作り商品の売り込みに懸命な生徒たち

伊 万里商業高校（園田皓二校長）の生徒約800人が、11月9日、10日の両日、中心商店街の空き店舗に自らがお店を開いて「商い」を体験しました。

伊商生が『商い』の現場を体験 みんなが商店街へ『きてみん祭』！

これはシャッターを閉めたお店が目立つようになった商店街を、通学途中に毎日見えてきた同校の生徒が「われわれ高校生ので何か商店街のためにできないか」と発案したのがきっかけです。この企画に商店街や商工会議所も一致協力。毎年恒例の商店街の『せいもん払い大売り出し』

と共同して、これまで文化祭に合わせて開いていた販売実習・伊商バザール、文化クラブの作品展示を商店街に持ち出すことになったものです。生徒たちはクラスごとに売りたい商品を決め、販売委託

を受けると同時に、それぞれのお店と交渉。店の飾り付けや看板などもすべて手づくりで行いました。当日は全校生徒が参加。商店街の中の空き店舗18店が、それぞれ工夫を凝らしたお店に早変わり

しました。焼き物や漬物、パン、衣料品などを仕入れて陳列。中には金魚すくいの出店もありました。

アーケードの中は、大にぎわい。「いらっしやーい」「安いよ」と威勢のいいかけ声が響き、何をやっているのだろうとのぞぎに来る人や、自分たちの子どものお店は、繁盛しているだろうかと心配して見に来た保護者などでごったがえしていました。中には1時間で売り切れてしまった店もでるほどの繁盛ぶり。高校生のパワーに商店主たちも圧倒されっぱなしでした。商業の実践と、地域との交流を目的に行われたこの『きてみん祭』。高校生たちのやればできるという自信につながったことはもちろんですが、それ以上に地域に投げかけたものは大きかったような気がします。



みんなが応援してくれてうれしい

この催しを企画した

岸川 浩一郎くん

（伊商3年、有田町岩谷川内）

おばあちゃんが伊万里の出身で「昔の商店街はそりやーにぎわってたよ」という話を聞いていました。毎日通る商店街を、何とか活気のあるものにしたと考えたのがこの催しです。最初はお客さんが来てくれるか心配だったんですが、始めてみたらたくさん

高校生のがんばりに感動しました。このパワー、一生懸命さ、商店主として学ばなければならぬと思えました。わたしたちは、ついつい自分の間口だけで商売しがちですが、地域の中で生きている商店街ですから、もつと地域に溶け込まないといけないと高

この催しに協力した

金子 博さん

（伊万里小売商業振興協会会長）

この波紋は大きく
広がるでしょう



勲五等瑞宝章

元伊万里市立伊万里中学校長

田中 照さん (75歳、新天町)

田中さんは、昭和23年教諭として伊万里第一小学校（現在の伊万里小学校）に着任。以来昭和63年に伊万里中学校長を退職するまで、またその後も引き続き、伊万里市教育委員として平成12年に教育委員長の職を交代するまで、通算50数年間学校教育、教育行政に貢献したことが評価され今回の受章となったものです。

田中さんは「子どもたちの学力向上に一生懸命でした。今までの中でも思い出深いのは、市教育委員会の学校教育課長時代に携わった学校統合問題ですね。原案を作り何度も地元を足運びました。自分の通った学校がなくなる、子どもとの通学距離が長くなるなど親御さんとしては複雑な心境だったでしょう。なかなか苦労しましたね。でもよき先輩や同僚に支えられ、助けられてここまで来れたと思います」と語っていました。

よき先輩や同僚の皆さんに支えられてきました

秋

の叙勲の受章者がこのほど発表されました。

伊万里市からは、教育分野で功績が顕著であったとして田中 照さん（新天町）が「勲五等瑞宝章」を、また消防分野で功績が顕著であったとして青木定義さん（波多津町浦）が「勲六等単光旭日章」を受章しました。

そこでお二人に、受章の喜びを聞いてみました。

秋の叙勲

おめでとうございます

勲六等単光旭日章

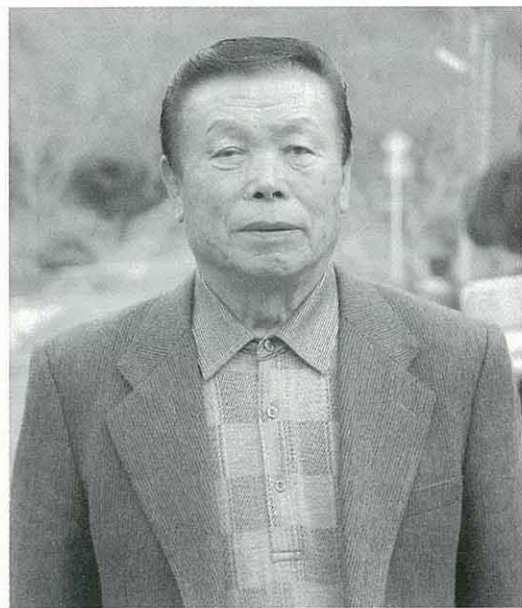
元伊万里市消防団副団長

青木 定義さん (71歳、波多津町浦)

火災の出動時にけがをした指を見つめながら話す青木さんは、昭和24年に消防団に入団以来、平成14年伊万里市消防団副団長を最後に退団するまで、私事を顧みず消防の職務に精励したことが評価され、今回の受章となったものです。

「今までで忘れられないのが昭和42年の水害ですね。伊万里湾は泥の海でした。その中に自分の船を出して行方不明

者の搜索をしました。亡がらを発見した時は涙が出ました。今でもあの光景だけは忘れられません。18歳で消防団に入りました。その当時は消防団に入らなければ男じゃな、と言われた時代でした。消防団活動は楽しかったですね。いつも地域の中心でしたね。いつしか人間関係ができていき、そんな中で自分は育てられた気がします」と青木さんは話していました。



自分は消防団に育ててもらったようなものです



子ども話し方大会

自分の気持ちを 自分で

市長杯争奪伊万里市子ども話し方大会が、11月3日大坪公民館でありました。

これは「美しいことばと豊かな心を育てる青少年の集い」と題して伊万里市子ども会連合会が毎年開いているもので、今年で36回を数えます。

当日は、各地区の子ども会を代表して小学生16人、中学生13人が参加。将来の夢や希望、自分の体験を通して感じたことや学んだことなど、それぞれ自分の気持ちを力強く

発表していました。なお、結果は次のとおりです。

▼小学生の部

- 《最優秀賞》下平弦来(大川内)
- 《優秀賞》松尾法子(伊万里)
- 《優良賞》馬場崎利沙(大川)
- 《同》松高貴代子(南波多)
- 《同》山口琴音(立花)

▼中学生の部

- 《最優秀賞》山口小百合(国見)
 - 《優秀賞》鴨川美和(滝野)
 - 《優良賞》松尾亜以(東陵)
 - 《同》松本咲子(青嶺)
 - 《同》田中智子(伊万里)
- ▼総合
- 《1位》大川町
 - 《2位》大坪地区
 - 《3位》南波多町



黒澤明記念館 サテライトスタジオ

動く絵画

『影武者』

黒澤明記念館サテライトスタジオでは、第12回特別展『動く絵画「影武者」』が行われています。

若いころ画家志望だった黒澤明監督は、生涯に2000点を超える色彩豊かな絵コンテを描いています。そして、こうした絵コンテを本格的に

描き始めたのが、映画『影武者』からだといえます。

この特別展では、こうした黒澤明監督の画家としての側面を絵コンテで紹介。あわせて黒澤作品の動く絵画といわれる『影武者』をスチール写真などで紹介しています。また、撮影に使われた兜や鉄砲など、全156点の品々が勢ぞろい。まさに必見です。

▼展示期間

平成15年2月23日まで

▼問合せ 黒澤明記念館サテライトスタジオ (☎09630)

郷土の文化財

伊万里市の歴史(補足)

加地子パツタリ

佐賀藩の農地改革

新田開発によって広大な農地を得た豪商や豪農たちは、人に貸して耕作させ、その加地子(小作料)で富を蓄えました。そしてその富で物成(年貢)の低い田地の買い取りを進めたので、藩内の農民の間には、大地主と小作人という格差が広がりました。

小作人は、年貢のほかに地主に加地子を収めなければならず、生活は苦しいものでした。

佐賀藩は天保12年(1841年)に、伊万里郷と有田郷の加地子の3分の1を減免させ、弘化3年(1846年)には、加地子を収めなくてもよいという政策を強行します。

大地主には、加地子の収入が入らなくなったので、この政策を「加地子パツタリ」といいました。



伊万里地方の豪商や豪農が開いた八谷棚

文久元年(1861年)には、大地主の土地の7割5分を小作人に分配する政策をとります。

小作農を自作農にして耕作意欲を高め、収量を上げると同時に、大地主の力を削ぎたいという藩のねらいがありました。

大地主は、先祖が苦労して開いた土地の返還を藩に請願しましたが、あまり効果はあがりませんでした。

みんなの

広場

このコーナーでは、あなたの周りの身近な出来事や話題を待っています。市役所広報係へご連絡下さい。
☎23-2111(内線207)



10.30

海上での災害発生に備えて

船からの油流出や船舶火災などを想定した海上防災訓練が伊万里港でありました。唐津海上保安部や伊万里市消防本部など8機関約70人と巡視艇など7隻、消防車両6台のほか、ヘリコプター1機が訓練に参加。訓練は停泊中の貨物船から燃料の重油が流出。その後に船内から火災が発生したとの想定で始まりました。海上にオイルフェンスを張ったり、ヘリコプターで負傷者を救出したり、まさに本番さながらの訓練でした。



11.1

東関部屋一行がごつつあんです

東関親方ら東関部屋一行が伊万里後援会の招きで伊万里市を訪れ、市役所を表敬訪問しました。親方をはじめ曙親方、高見盛関、潮丸関が塚部市長と懇談し、東関親方は「みんなこれからが楽しみです。伊万里からも一人弟子がほしい」と話していました。



11.10

健康と福祉について考えよう

第11回ふれあい健康福祉まつりが市民センターでありました。当日は、健康づくりコーナーや福祉コーナー、赤ちゃんハイハイ大会など多彩な催しが行われました。また、屋外では福祉団体によるバザーやアトラクションも行われ、会場は多くの人でにぎわいました。

これならどんな火災も大丈夫

秋の火災予防運動に合わせ、青嶺中学校で伊万里市消防署、消防団の合同訓練がありました。消防署からは工作車など車両5台29人、消防団からは黒川分団の積載車6台98人が参加。けが人の救出や消火活動など本番さながらの訓練が展開されました。



11.10



11.3

文化の秋、芸術の秋を満喫

第41回伊万里市文化祭が市民センターを中心に開かれました。文化ホールでは文化連盟会員による合同芸能発表会がありました。会員たちの多種多彩な芸能の披露に、会場を訪れた観客は時間の経つのも忘れて聞き入っていました。

いざという時は、ぼくも消防士だね

市民センターで『伊万里市消防フェア2002』がありました。当日会場には、消火器体験や救急処置体験、119番通報体験など、いざという時に役立つ各種体験コーナーが登場。小さい子どもからお年寄りまで、多くの市民が消防の大切さを体験していました。



10.20



11.3

お目当ての品は見つかったかな？

大川内山では『鍋島藩窯秋まつり』が開催されました。今年のテーマは『秋彩々(あきさいさい)』。各窯元では秋をイメージした新作が店先に並びました。近年は外国のお客さんも多く見られ、気に入った器を見つけては日本語でお店の人に話しかけていました。

気合いを入れて、せーのヨイショ！

『やってみゅーだ2002in大川町』が大川町体育館を中心に行われました。あいにくの雨にもかかわらず、今年も綱引き大会には県外からの参加も含め多くのチームが出場。中には実力以上に衣装で会場を沸かすチームもあり、大いに盛り上がっていました。



11.3

伊万里市内の3農協(伊万里市、南波多、大川町各農協)と西松浦郡内の2農協(有田町、西有田町各農協)の合併協議が整い、平成15年4月1日から新組合『伊万里市農業協同組合(愛称は「JA伊万里」)』としてスタートすることになりました。

合併契約内容は、5農協の対等合併とするもので、正組合員数は県内5位の6000人、販売高は4位の115億円となります。

合併予備調印式であいさつした合併協議会会長の副島伊万里市農協組合長は「お互いの良いところを引き出し、悪いところを補い一致協力してがんばっていきたい」と語っていました。



11月12日、合併予備契約に調印し握手を交わす5組合長(左から有田町農協の前田組合長、西有田町農協の木寺組合長、伊万里市農協の副島組合長、南波多農協の井本組合長、大川町農協の田中組合長)

伊万里、西松浦の5農協
合併し、さらなる
飛躍をめざすことに

が した



第

34回市民体育祭が、10月27日国見台陸上競技場で開かれました。

時おり冷たい風が吹く肌寒い一日でしたが、そんなものは何のその、出場した各町の代表選手は元氣いっぱい競技していました。

結果は、終始リードを保った大川内町が総合優勝。みごと3連覇を達成しました。

なお、主な成績は次のとおりです。

▼総合

優勝 大川内町、2位 山代町、3位 大坪町

▼躍進賞 二里町

▼応援賞 山代町

▼入場行進特別賞 山代町

▼年齢別リレー 大川内町

▼消防団リレー 大川内町

▼婦人リレー 松浦町

▼青年リレー 大川内町

第34回市民体育祭

大川内町が

3連覇を達成

- ▼小学生リレー 大坪町
- ▼中学生リレー 大坪町
- ▼百足競走リレー 大川町
- ▼なわとび合戦 大川内町
- ▼つなひき 南波多町



これが消防団の
力です



総合優勝を飾った大川内町チーム。みんなの団結の勝利です。

よしよし、
順調、
順調



何かアキアキ



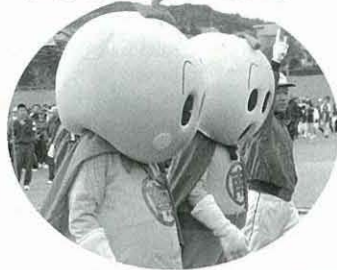
みんなの笑顔 光っていま

頼むけんね!



そりゃー! 引け! 引け!

この格好で
走らるっちゅ



おっと、これは
問題かも?



あらよつと



はよ行けさー

やったぜゴール!



よーし 負けんけんね!

子ども将棋大会

めざせ！ 未来の名人



第5回子ども将棋大会が、11月3日、市民図書館でありました。これは、子どもたちに将棋の楽しさを知ってもらおうと、市民図書館と日本将棋連盟伊万里支部が共催して毎年文化の日に開いているものです。

当日は、市内はもとより県内外から総勢38人の小・中学生が参加。ピンと張りつめた一種独特の緊張感が漂うなか、初級、中級、上級、有段者の4コースにわかれて真剣勝負が展開されました。

昨年に引き続き参加した塚本 光くん（写真右・大川内小5年）は「将棋はおじいちゃんに教えてもらいました。この大会では、実力者の人たちと対戦できて、自分の腕だめしができるのでとても楽しいです」と参加した感想を語っていました。



ふれあい交流いまり童謡まつり

なつかしい童謡を みんなで大合唱！



11月3日「ふれあい交流いまり童謡まつり2002」が市民会館でありました。これは、幼いころ誰もが歌ったことのあるなつかしい童謡を歌い、聴くことによって心を豊かにし、保育園児からお年寄りまでが交流を深めようと毎年開かれているものです。

当日は、市内の25保育園の年長児43人と、牧島、川東、大里の老人クラブか

ら約50人が参加。会場いっぱいにつめかけた観客の前で、それぞれが元気いっぱいに歌や踊りを発表しました。

またこの日は、お父さんやお母さんにとってはなつかしい『のっぽさん』こと高見映さんをはじめ、歌のお姉さんや体操のお兄さんら4人のゲストが登場。ステージ上で繰り広げられる楽しい歌やダンス、ゆかいなおしゃべりに、子どもたちはもちろんのこと、会場全体が大いに盛り上がっていました。



ゲスト出演した「のっぽさん」こと、高見 映さん

四季の詩

ひとり身に仕来り重き年用意

松島町 小島 春蘭

幼なき日夢に描きし海の虹今うつつなり伊万里大橋

山代町立岩 山本 とも



伊万里町 往来

二里編

このコーナーでは、各町自慢の名所、旧跡を紹介していきます

（二里の誇りである名医）

峰家親子三代の医者

刺絡の技に長じていた。50歳ごろ郷里で開業。名医の誉れ高く、長崎居留の中国人も診療を受けに多数来ていたという。また、地元の作井手天満宮の会所・責任者も務めていたという当時の記録が残っている。

12歳から毎日記録した『日暦』や有田、平戸、佐世保、伊万里の来診、往診の記録などでも残されている。

▼**峰 源次郎** 1843年生まれ、静軒の次男。29歳の時、北海道札幌で医学教授兼病院勤務をし、その後親交の深かった大隈重信に招かれ大蔵省に入る。48歳で帰郷し、村民診療にあたる傍ら、伝染病、細菌学、ツベルクリンの研究を重ね、大正13年に日本医師会から表彰される。医学研究のみならず、詩歌や文学にも秀でており、戦前の二里小学校校歌は彼の作である。また、

▼**峰 直次郎** 1868年生まれ、源次郎の次男。医学開業試験に合格後、帝国大学で9年間研究した寄生原虫病理学の論文が認められ、東京医学会頭表彰を受ける。明治33年から一等軍医として台湾へ赴任。明治37年には第13師団野戦病院長を拝命。以後、近衛、台湾、広島、福岡、金沢などの陸軍病院長を歴任する。昭和の初めに二里へ帰り、父とともに地域医療に従事。のちに西松浦（現在の伊万里・有田）の連合医師会長となる。大正8年、赤痢大流行の時には親子で治療に活躍。昭和13年に永眠するまでの17年間、郷里の医療に専念。里人のみならず県外からの患者も多いため、交通の便を考え伊万里に診療所を移す。



紹介者の
宮島トミエさん(作井手)

この峰家親子三代の名医は、今も二里の誇りとするところだ。

▼**峰 静軒** 1792年、二里町作井手生まれ。19歳の時、熊本で古医学を修め、25歳の時京都で洋方を学ぶ。特に阿片硝酸などの用法を自得し、



峰 源次郎著『渭陽存稿』
(上2冊・詩稿、下見開き・紀行)

わが家の

アルバム

ふるかわ かなた
古川 奏那くん (2歳)
(10か月)

- ★秋博・茜さんの長男
- ★大坪町上古賀



おれあさんからひとこと

明るくて楽しい奏那のこと
がみんな大好きです。元気で
たくましく、そして優しい人
になってください。



ほくはトラックやショベル
カーが大好き。だから、家の
近くを通り過ぎる時はせつた
いに見逃さないんだ。それた
おもちゃもたくさん持って
て、庭で穴を掘ったり石を運
んだりしてるんだよ。ほく
ちの庭は、ちよつとした工事
現場ってところかな。



ほほえ美さん

じょうしま あや
城島 綾さん(22歳)

- ★西円蔵寺
- ★てんびん座・A型

綾さんは、黒川町の小島病
院に勤務して3年目。現在、
働きながら看護学校にも通っ
ています。仕事と学校の忙し
い毎日ですが、職場の理解と
協力もあり、楽しく両立でき
ているそうです。
自らの性格を「興味がある
と、何でも挑戦するタイプ」と
語る彼女。中国とカナダに短
期留学したり、茶道を習った
り、そして今はデザイン画に
夢中だったり、まさにこと
ばどりの行動派ぶりです。
さらに、最近是中国語の勉強
も始めた彼女。理由は「もっ
一度中国に行きたいから」と
笑顔で話してくれました。

体育功労賞とスポーツ賞表彰式

皆さんの力が市のスポーツ振興に

市のスポーツ振興に顕著な功績があった人に贈る『体育功労賞とスポーツ賞』の表彰式が、10月27日、市民体育祭の開会式に合わせてありまし



た。受賞した皆さんは次のとおりです。(順不同、敬称略)
《体育功労賞》

- ▽堤 利光(松浦町) ▽立石 幸夫(東山代町) ▽井関日出夫(松島町) ▽故有浦健綱(南波多町) ▽馬場金六(山代町) ▽高志充園(南波多町) ▽平井俊弘(立花町) ▽山本三夫(東山代町) ▽大久保充次(大川内町) ▽副島一子(同) ▽田中光子(同) ▽松尾博幸(大川町) ▽前田三枝子(東山代町) ▽松本定次(松島町) ▽山下 強(南波多町)

《スポーツ賞》

- ▽日浦祐也(東山代町、伊商3年) ▽福田千尋(同、諫早高3年) ▽森山 隆(木須町、多久高3年) ▽森山 稔(同、多久高3年) ▽樋口和真(南波多町、有工2年) ▽松尾達也(立花町、伊高3年) ▽前田真菜(二里町、国見中3年) ▽古場勇人(立花町、伊中1年) ▽伊万里商業高等学校女子ホッケー部 ▽大川少年野球 ▽伊万里農林高等学校カヌー部

《同、県民体育大会優勝者》

- ▽岩藤一人(山代町) ▽清水正彰(立花町) ▽陸上競技伊万里市男子チーム ▽陸上競技男子400リレーチーム ▽卓球一般男子伊万里市A ▽ソフトボール男子B伊万里市(大坪町) ▽ボウリング(3人チーム) 伊万里市A

12月の町民スポーツ

- 8日(日)
 - 波多津町内一周子ども駅伝大会 8時半開会 波多津運動広場
 - 波多津町子ども会親子卓球大会 8時半開会 波多津体育館
- 15日(日)
 - 伊万里町民駅伝大会 9時半開会 伊万里町内
- 1月1日(水)
 - 東山代町新春走ろう会 9時開会 東山代町内
 - 牧島町新春歩こう走ろう会 8時開会 牧島地区内
 - 大川内町新春走ろう会 8時開会 大川内町内

12月の市民スポーツ

- 1日(日)、8日(日)
 - 佐賀県クラブ選手権バスケットボール大会 9時開会 国見台体育館
- 7日(土)
 - 伊万里市中学新人バスケットボール大会 9時開会 国見台体育館
- 15日(日)
 - 伊万里市選手権卓球大会 9時開会 国見台体育館
- 21日(土)、23日(月)
 - 近県高校バスケットボール伊万里大会 9時開会 国見台体育館
- 22日(日)
 - 市内混合ダブルスバドミントン大会 9時開会 国見台体育館



力投を見せる原投手(有田工業)

市長旗争奪 高等学校野球大会

甲子園はすぐそこまで!

来シーズンの活躍を占う、第25回市長旗争奪伊万里地区高等学校野球秋季大会が11月2日から4日にかけて国見台野球場でありました。

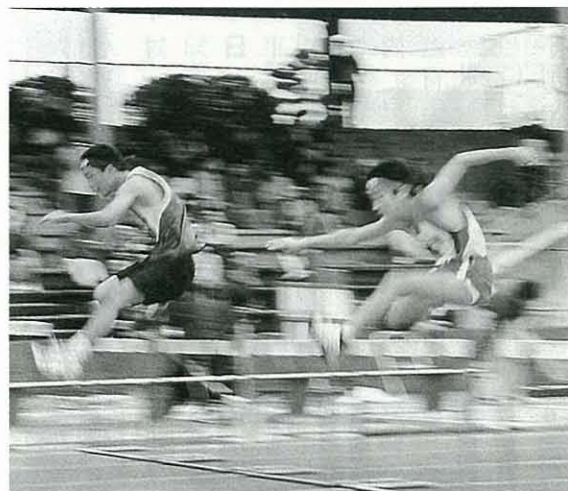
出場したのは伊万里地区の5校。いっしょに中学校までプレーした仲間も多く、日ごころから親交の深いチーム同士ですが、そこは勝負の世界。お互い敵味方に分かれて力いっぱいプレーしていました。

決勝に駒を進めたのは、大差をつけて勝ち上がった有田工業と、接戦を制して1回戦を勝利した敬徳高校の2チーム。序盤は追いつ、追われつの接戦を展開しますが、有田工業は相手投手の疲れの見えてきた6回、4本の長短打と四球をからめて7点を奪取。試合の体勢を決めてしまいました。その後の7回にも好調な打線が火を吹き3点をもぎ取り、終ってみれば13対2の大差で優勝。有田工業打線のつながりと、原投手(国見中出身)の粘り強いピッチングが光った大会でした。

3年生が抜けた新チーム同士の熱き戦いに、詰めかけた観客は一喜一憂。声を枯らさんばかりの声援を送っていました。

伊万里市小学校陸上運動大会

跳んだ 投げた そして走った!



《男子の部》

34回目を迎える伊万里市小学校陸上運動大会が、10月20日、国見台陸上競技場で開かれました。

参加したのは市内の16小学校から選ばれた4年生以上の児童600人。当日は、小雨もよりのあいにくの天気でしたが、それにもめげず出場した選手たちは、日ごろの練習の成果を発揮しようと力いっぱい競技していました。

なお、大会上位の成績は次のとおりです。

- ▼100メートル▽6年生①中島大誠(大川小)②平山晃大(同)③津上 遼(牧島小)▽5年生①畑山慎哉(波多津東小)②山田 剛(伊万里小)③松尾俊希(同)▽4年生①松尾一樹(松浦小)②杉山晃紀(黒川小)③井崎伊織(大坪小)▼60メートル▽6年生①田中雄太(波多津小)②中井裕武(大川小)②中島勇太(大川内小)▽5年生①梅村春樹(南波多小)②金子泰然(大川内小)③山田 剛(伊万里小)▼4x100メートルリレー▽6年生①大川小②大坪小③伊万里小▽5年生①伊万里小②立花小③黒川小▽4年生

- ①東山代小②大坪小③立花小▼持久走▽6年生①梶原将太(黒川小)②江口幸宏(大川小)③和嶋奨(黒川小)▽5年生①徳永渉人(立花小)②佐々木大地(黒川小)③石橋力弥(伊万里小)▼走り幅跳び▽6年生①平山晃大(大川小)②吉永昇平(滝野小)③津上 遼(牧島小)▽5年生①原田 悠(二里小)②犬塚啓介(牧島小)③瀬戸遼太郎(黒川小)▼走り高跳び▽6年生①田中智也(二里小)②中島大誠(大川小)③宮地健人(山代東小)▽5年生①田中光希(東山代小)②馬場史忠(山代西小)③福田純平(二里小)③川口真一郎(山代東小)③柴田謙二(黒川小)③酒谷純平(波多津小)③中島嘉久(牧島小)▼ソフトボール投げ▽6年生①如田大樹(大坪小)②岸田広大(黒川小)③中井健人(大川小)▽5年生①水尾考宏(波多津小)②井本慎吾(南波多小)③松尾俊希(伊万里小)

《女子の部》

- ▼100メートル▽6年生①池田真実(大川小)②福田 雅(二里小)③山口由貴(伊万里小)③古河恵里香(波多津東小)▽5年生①小川華奈(大坪小)②内山 舞(大川内小)②大古場彩華(立花小)▽4年生①田村麻耶(立花小)②池田美咲(二里小)③岡本 唯(同)③島田恭子(大川内小)▼60メートルリレー▽6年生①伊万里小②大川内小③東山代小▽5年生①伊万里小②大坪小③東山代小③立花小▼持久走▽6年生①吉富桃子(伊万里小)②北川愛莉(二里小)③吉田ひかる(波多津小)▽5年生①内山 舞(大川内小)②出雲優(山代東小)③力武 彩(大坪小)▼走り幅

- 跳び▽6年生①副島佳恵(松浦小)②浦川美加子(二里小)③前川知香(大川内小)▽5年生①井上 舞(東山代小)②井手沙織(黒川小)③三枝彩(南波多小)▼走り高跳び▽6年生①原 良衣(大川内小)②桑本 梓(南波多小)③池田 舞(大坪小)③松尾優紀(立花小)▽5年生①木村也美(大川小)②山口綾子(黒川小)③山口夏菜(大坪小)▼ソフトボール投げ▽6年生①草野杏理(東山代小)②山口由貴(伊万里小)③池田 彩(黒川小)▽5年生①田中咲那加(波多津小)②前田麻貴(大川内小)③丸尾美沙(大川小)





お知らせ

子育て支援センターに遊びに来ませんか

子育て支援センター「ぼっぼ」は、子育てに関する悩みや不安を相談したり、親子で仲間作りができる場です。お気軽にご利用ください。

①わくわく広場

●対象 就園前の乳幼児とその保護者

午前10時～午後2時

▽ひまわりコース

12月6日、20日

▽ちゅうりっぷコース

12月2日、16日

●対象 0～1歳3か月までの乳児とその保護者

※事前に申し込みが必要です

●日時 12月11日、27日
午前10時～午後2時

●対象 子育て中のお母さん

●日時 12月4日、25日

●テーマ 生活リズム

※事前に申し込みが必要です

④つくしんぼランド

●対象 就園前の乳幼児とその保護者

●日時 11月18日(水)

午前10時～11時半

※事前に申し込みが必要です

●会場

①～③子育て支援センター

④市民図書館

●申込・問合先

子育て支援センター

(☎235197)

知的障害者更生相談所の巡回相談

●対象

知的障害者やその家族など

●日時

平成15年1月14日(火)

午前10時～午後3時半

●会場 市民センター

●内容

療育手帳、施設への入所、医療、年金、職業、生活などに

●受付期間

※事前に申し込みが必要です

●申込・問合先
市福祉課社会福祉係
(☎232111内線262)

障害者支援費制度説明会

障害者生活支援センター

は、平成15年4月から始まる障害者支援費制度やその利用方法について説明会を開催します。

●対象 市内在住の障害者やその家族など

●日時 12月21日(土)

午後1時半～3時半

●会場 市民センター

●参加料 無料

●問合先 障害者生活支援センター(瑠璃光苑内)

(☎232909)

母子・寡婦家庭への修学資金の貸付

母子家庭の児童や、寡婦が扶養する子どもの高校・大学への進学を支援するため、資金を貸し付けます。

●申込希望者は、母子ともに面接が必要です。日時の予約をしてください。

※このほかに10種の貸付制度があり、随時受け付けています。

●受付期間

▽就学支度資金(来年入学者) 平成15年1月8日～2月15日

▽修学・修業資金(就職に必要な運転免許などを取得するための資金) 平成15年1月8日～3月29日

●提出書類

申請書、戸籍謄本、住民票謄本、所得額・税額証明書(所定の用紙)

●申込・問合先

市福祉課母子相談室
(☎232111内線265)

陶磁器編古伊万里 発刊記念講演会

市史編さん室は「伊万里市史」陶磁器編古伊万里の発刊を記念し、講演会を開催します。

●海外に輸出された焼物を中心とした内容で、スライドを使ってのわかりやすい講演会です。ぜひご来場ください。

●日時 12月7日(土)

午後1時～3時15分

●会場 市民図書館ホール

●入場 無料

●演題 「伊万里焼の海外輸出について」

●講師 大橋康二氏(県立九州陶磁文化館副館長)

●問合先 市史編さん室
(☎232111内線287)

小・中学生の人権・同和教育作品展

12月4日～10日は人権週間です。市教育委員会は、この人権週間にちなみ、市内の小・中学校の子どもたちの「人権・同和教育作品展」を開催します。

ぜひご覧ください。

●展示期間・場所

▽12月4日(水)～10日(火)

市役所市民ロビー

▽12月11日(水)～17日(火)

市民図書館ホール

●問合先 市生涯学習課
(☎232111内線461)

海のシルクロード館 展示を刷新!

今年5月にオープンした海のシルクロード館は、今回展示品をリニューアルしました。来年4月末まで展示していますので、ぜひご来場ください。

●古伊万里ギャラリー常設展

古伊万里の流れと和風化と大衆化

●企画展

大皿の時代、大皿の大衆化

●問合先

海のシルクロード館
(☎231189)

12月の行事

市民センター ☎ 223911

- 1日(日) 市民音楽祭 13時 無料
- 23日(月) 市民センター10周年記念事業
能楽座「能」・「狂言」公演
14時開演 全席自由
(前売) 一般 4000円
高校生以下 1500円
当日 1000円増

★お知らせ

市民センター自主事業
九州交響楽団演奏会
◇期 日：2月23日(日) 予定

市民会館 ☎ 227105

- 1日(日) 日本舞踊公演 12時 3000円

市民図書館 ☎ 234646

- 8日(日) 一映「米百俵」 13時半 無料
- 22日(日) 子映「ライオン・キング」 14時半 無料
- ◆特別企画
14日(土) クリスマスおはなしかい 14時半 無料
(会場：図書館ホール)
- ※毎週土曜日 お話し会 14時半～
- ※都合により上映時間を変更することがあります

市民相談

会場：市民相談コーナー
時間：10時～15時 無料・秘密厳守
法律相談：8時半受付 先着10人まで

- 法律 (木) 5.19
- 交通事故 (火) 10
- 行政 (水) 18
- 人権 (火) 3.17
- 身障者 (水) 25
- 消費生活 (月) 2.9.16.24(火)
- 女性就業 (水) 4.11.18.25
- 社会保険 (金) 6.13.20.27

(会場：第1面接室)

- ボランティア相談…毎週月曜日 10時～15時 会場 市民ロビー
- 緊急巡回労働相談…毎月第3火曜日 10時～16時 会場 市民ロビー

17日(火) の人権相談は、特に、女性の人権(セクシャル・ハラスメントなど)についての相談に応じます

☎ 232111 (内線226)

市立幼稚園の 入園受け付け

平成15年度の市立幼稚園の入園申し込みを受け付けます。入園申込書は、各幼稚園にありますので、入園を希望する幼稚園に直接申し込んでください。

対象児童

平成15年4月2日現在で、満3歳～5歳の児童

申込期限

平成15年1月17日(金)

※定員に空きがある場合は随時入園できます。各幼稚園にお問い合わせください

申込・問合せ先

波多津東幼稚園

(☎250769)

黒川幼稚園 (☎270609)

ぼしゅう

放送大学の 学生を募集します

《教養学部》

入学資格 平成15年4月1日現在で15歳以上の人
(全科履修生は18歳以上)

●学生の種類

全科履修生 卒業をめざす学生

▽選科履修生

1年間在学する学生

▽科目履修生

6か月在学する学生

●入学料

全科履修生 20000円

選科履修生 7000円

科目履修生 5000円

●授業料

1科目当たり(教材費込み) 10000円(2単位)

《大学院》

入学資格 平成15年4月1日現在で18歳以上の人

入学料 10000円

●授業料

1科目当たり(教材費込み) 20000円(2単位)

募集期間 12月15日～平成15年2月28日

●申込・問合せ先

放送大学佐賀学習センター

(☎095223308)

参加してみませんか 料理教室

●参加対象

母子世帯および父子世帯の

しけん

県立窯業大学校

親子、会員とその子・孫

定員 20組(先着順)

日時 12月7日(土)

午前9時～午後2時

会場 市民センター

参加料 無料

持参するもの エプロン

申込期限 12月5日(木)

※会員は各町の会長へ申し込んでください

●申込・問合せ先

市母子寡婦福祉連合会

(☎25774の外園まで)

高等学校を卒業した人および卒業見込みの人、または高等学校を卒業した人と同等以上の学力を有すると認められる人

試験日

平成15年2月3日、4日

出願期間

平成15年1月7日～20日

《研究科 定員10人》

●出願資格

本校の専門課程を卒業した人および卒業見込みの人、またはこれと同等以上の学力を有すると認められる人

試験日 平成15年2月27日

●出願期間

平成15年2月5日～18日

●申込・問合せ先

県立有田窯業大学校

(☎095543144)



ふるさと 故郷・伊万里から遠く離れて仕事などに頑張っている伊万里出身者がいらっやいます。また「伊万里」という語感が好きで、これを店名にされているお店なども数多くあります。このコーナーでは「伊万里」と縁が深いみなさんのお便りをご紹介します。

『伊万里駅の思い出』

ふるさと伊万里応援団（兵庫県神戸市）

原 邦芳 さん

私は昭和18年伊万里駅の近くに生まれ、子供の頃は伊万里駅の周りで遊び育った。想い出の駅はエネルギーが豊富な活力の漲る貨物ヤ、人の出入口であった。何両もの蒸気機関車が黒煙を吐いて、黒ダイヤ（石炭）が満杯の逆台形の石炭車や他の貨車を連結して、西へ東へと、カッチャン、カッチャンと頻繁に線路の入替をしていた。家が機関士宿舎だったため、顔なじみの機関士さんが蒸気機関車に乗せてくれた事もあった。ボイラーの釜の中に石炭が投げ込まれ、真っ赤な炎が力強く蒸気機関車を動かした。蒸気機関車の先端には赤と緑の小旗を持った駅員さんが乗って、旗をさっそうと靡かせている姿を凛々しく思った。

貨物広場では缶蹴りをよく遊んだ。倉庫や広場には隠れる場所一杯あった。倉庫の中の高く積まれた海産物の袋の上にも隠れた、そして袋に指を突っ込んでイリコをこわごわ食べた。また、数少ない木炭トラックの車体下部や運転台に乗って隠れたときは、トラック独特の揮発性の臭いが好かった。一方、多くの人が乗降した伊万里駅舎には、届いた荷物を自転車に取りに来る店の人、近隣の町、村から、野菜かごを担いで降りる人



生橋の方まで、恐ろしい程の人の多きだった。又伊万里駅は復員の兵隊さん達を迎えてくれた。その時母は言っていた。「父さんも帰ればなあ」と。しかし、待っても待っても、駅は父を迎えることはなかった。私も子供の時期を終え、日本が高度成長に向って走り出した昭和37年、伊万里を離れる決意をし、伊万里駅を出発した。伊万里を跡にする私を無言で包み込んでくれたのは駅であった。それから月日は流れ、間に間に帰る伊万里駅には、まだまだ当時の面影が残っていて、それらは私に昔を思い出させてくれた。そして暖かく迎えてくれた。

や、通勤、通学の人で溢れていた、特に朝夕の活気を3年間の有田への通学時に肌で感じた。もっと幼なき日に、心に残ったことは、昭和天皇の戦後復興御巡幸であった。母の腕に抱かれ、日の丸の小旗をお立ち台の近くで振った。日の丸の小旗を持った人の波で、駅前通りは相

今、伊万里駅が鉄道と共に市街地南北の道路の拠点として、装いも新たにスタートしたと聞き及んでいく。心からお祝い申し上げたいと思う。伊万里を訪れ、又、駅に集まる人々の心に、温もりと豊かさを与える、そんなステーションとして発展される事を祈るのみである。

先日「伊商店街きてみん祭」という催しの取材に商店街に行きました。いつもは端から端まで見透せる商店街が、歩くのに不自由なほど賑わいをみせていました。確かに売り子の高校生も多かったのですが「こんなに賑わっている商店街を見たのは何年ぶりかな」という人の声に、何だか嬉しくなりました。これを思い立ったのは高校生。またこれを実現させたのも高校生。まさに我々は脱帽です。高校生が集団でいると、何か悪いことをしているのではないかと思ってしまう自分が恥ずかしくなりました。何か伊万里のまちは変わりつつあるな、そんなパワーを感じたこのころです。(V)

編集室から

人のうごき

平成14年11月1日現在

●人口	59,810人	(-)	15)
●男	28,535人	(-)	18)
●女	31,275人	(+)	3)
●世帯	20,477世帯	(+)	10)

() は前月比

広報 伊万里 2002-12

発行日/平成14年12月1日
 発行編集/伊万里市役所秘書課広報係
 (0955)23-2111
 〒848-8501佐賀県伊万里市立花台1-1-1
 ■伊万里市のホームページ
<http://www.city.imari.saga.jp/>
 ■印刷/株式会社三光